

私たちの未来のために

東大阪市長からのメッセージ

2019年、日本でラグビーワールドカップが開催され、会場のひとつとなる東大阪市にも、世界中から大勢のファンや関係者がやって来られます。

このスポーツイベントを、『モノづくりのまち東大阪』を広く知ってもらう機会と捉え、大いにこの地の魅力を世界に発信していきましょう。

しかし、一言に“まちの魅力”と言っても、それは何であり、どうやって伝えていけばよいのでしょうか？

それにはブランド力を高めることだと私は考えています。ブランド力は、今後商品や企業だけではなく、都市にも求められるものです。

東大阪と言えば、やはりモノづくりのまちです。ところが、グローバル化の進展、消費者ニーズの多様化、IoT、AI機能を持ったロボットの出現など、製造業を取り巻く環境は目まぐるしく変わってきています。日本を支えてきた本市のモノづくりにも、今大きな変化が訪れようとしています。

その先にどういう姿が求められるのか？

それこそがモノづくりのまちとして目指すべきブランド像だと確信しています。

東大阪市は、東大阪商工会議所や近畿大学と連携し、東大阪市の都市ブランド形成のための共同プロジェクトを立ち上げ、ブランディングに向けた取組を始めます。そのためには主役となるモノづくり企業の皆様の想い、希望、夢、あるいは不安や悩みなど、率直な気持ちを知ることから始めなければなりません。

このアンケートに是非ご回答いただきますようお願いいたします。

平成29年7月 東大阪市長

回答目安時間 20分

ご回答にあたってのご注意

- ・ この調査は、原則として企業の代表者(経営者)を対象にした調査ですので、代表者にご回答頂きますようお願い致します。
- ・ 市内に2か所以上の事業所がある場合、それぞれの事業所にアンケート用紙が届く可能性がありますが、いずれか一つにまとめてご記入ください。
- ・ 調査票の記入は、黒または青のボールペンなどを用いて、はっきりとご記入ください。
- ・ 各設問で、「その他」を選択された場合は()内に自由回答として具体的な内容をご記入ください。
- ・ ご記入いただきました内容は本プロジェクトの基礎情報として利用するほか、学術研究、産業振興以外の目的で利用されることはありません。
- ・ 東大阪市、東大阪商工会議所及び近畿大学が連携して取り組む東大阪都市ブランディング形成プロジェクトでは、ご記入いただきました内容にもとづいて、個別に追加調査、ヒアリングなどを願いすることがあります。
- ・ ご記入いただいた調査票は、三つ折りにし同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに8月4日(金)までにポストに投函してください。

I 企業概要について

貴社名（事業所名）

所在地（住所）東大阪市

代表者名（役職）（氏名）年齢（平成29年7月1日時点）

問合せ先（部署・役職）（氏名）

連絡先（電話番号）（FAX番号）（E-mail）

※今後、市の施策案内配信を希望される場合はE-mailアドレスまたはFAX番号をご記載ください。

1. 業種について当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ①紙・印刷 ②化学・プラスチック ③鉄鋼・非鉄金属 ④金属製品 ⑤機械器具 ⑥その他の製造業

2. 従業員数について、①②それぞれご記入ください。

①正規雇用 人 ②非正規雇用 人

3. 東大阪市での操業年数についてご記入ください。

操業 年（平成29年7月1日時点）

II 事業内容、経営・技術について

1. 生産形態について当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-----------------|----------|
| ①自社製品主体の製造 | ②一部自社製品と下請け製造加工 | ③下請け製造加工 |
| ④独立した加工専門業 | ⑤試作加工 | ⑥その他（ ） |

2. 貴社の強みと課題について下欄より該当する番号をそれぞれ順に2位までご回答ください。

- ①技術力・製造(加工)精度 ②他にない技術の特殊性 ③小ロット対応力
 ④納期対応力(スピード) ⑤品質管理 ⑥営業力 ⑦価格競争力 ⑧ブランド力
 ⑨デザイン力 ⑩企画開発力 ⑪情報発信力 ⑫IT活用力 ⑬グローバル化
 ⑭人材育成 ⑮財務基盤 ⑯異業種とのネットワーク ⑰その他

	1位	2位
強み		
課題		

「⑰その他」選択の場合（自由回答）	
強み	
課題	

**3. 貴社が誇れること、自慢できることについて該当するものを順に2位までご回答ください。
また、その理由についてもご記入ください。**

- ① 技術力 ② 機械・設備 ③ 開発力・企画力 ④ 創業からの歴史 ⑤ 信頼・信用 ⑥ 人材 ⑦ 品質
⑧ 取引先 ⑨ 納期 ⑩ コスト ⑪ 特になし ⑫ その他()

貴社が誇れること	該当する番号	その理由
1 位		
2 位		

4. 貴社の自慢できる技術・独自技術などがあれば、ご記入ください。

5. 自社開発製品(自社ブランド)をお持ちですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ① すでに持っている ② 今後持ちたい ③ 考えていない ④ 過去に持っていた

III 経営者の意識について

1. 今後の経営方針について当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ① 現状維持 ② 事業規模拡大 ③ 事業規模縮小 ④ 事業の多角化
⑤ 事業転換 ⑥ 廃業 (M&Aによる売却を含む) ⑦ その他()

この項目で「⑥廃業(M&Aによる売却を含む)」を選択の場合、「V 東大阪市(都市イメージ)について」へお進み下さい。
①～⑤や⑦を選択された場合は、そのまま次の項目へお進みください。

**2. 貴社の過去3年間の推移、および今後3年間の推移の見通しについて、
売上高、経常利益、従業員数、設備投資額(金額)のそれぞれの状況に
当てはまる1～5の数字一つに○をつけてください。**

	過去3年間				今後3年間の見通し			
	売上高	経常利益	従業員数	設備投資	売上高	経常利益	従業員数	設備投資
大幅に増加	1	1	1	1	1	1	1	1
やや増加	2	2	2	2	2	2	2	2
横ばい	3	3	3	3	3	3	3	3
やや減少	4	4	4	4	4	4	4	4
大幅に減少	5	5	5	5	5	5	5	5

今後3年間の見通し(設備投資)で大幅に増加・やや増加を選択された方にお伺いいたします。◀
どのような設備を導入される予定ですか。

[] →具体的な生産設備 [例:大型(門型)マシニングセンターなど]

3. 企業間交流・連携(同業種・異業種)の実績及び関心について、該当するもの1つに○をつけてください。

- ① 参加している ② グループではないが日常的に交流している仲間はいる
 ③ 参加していないが関心はある ④ 参加していないし関心もない

4. 新たな事業を展開するとした場合、どのような相手と関わっていきたいとお考えですか。関わっていきたい順に3位まで番号をご記入ください。

1位	2位	3位
----	----	----

- ① 海外企業 ② 大企業 ③ ベンチャー企業 ④ 異業種企業 ⑤ 同業種企業 ⑥ 投資家(銀行含む) ⑦ 商社 ⑧ 経営コンサルタント
 ⑨ 弁理士 ⑩ デザイナー・クリエイター ⑪ 大学(学生も含む) ⑫ 研究機関 ⑬ 特になし ⑭ その他()

5. 前問で⑩とお答えした方に伺います。デザイナー・クリエイターに何を依頼してみようとお考えですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ① 製品デザイン ② 製品パッケージ ③ PR方法 ④ 商品開発 ⑤ 企画・設計から販路まで
 ⑥ 企業ロゴ・マーク ⑦ その他()

6. 従業員の人材教育においてどのような取り組みを行われていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 経営者が自ら教える ② さまざまな仕事・部署を経験させる ③ 社内独自の研修・勉強会・教育制度がある
 ④ 社外のセミナー・研修・勉強会に参加させる ⑤ 特になし ⑥ その他()

7. 貴社にとって、今後、どのような人材が必要となると思われますか。当てはまるものを順に3位まで番号をご記入ください。

1位	2位	3位
----	----	----

- ① 技術力がある人 ② 企画開発力がある人 ③ 営業力がある人 ④ デザイン力がある人 ⑤ ITに強い人
 ⑥ 経理に明るい人 ⑦ 労務管理ができる人 ⑧ 語学力のある人 ⑨ その他()

8. これまでに現状の貴社の技術では対応できない注文、問い合わせが来た場合、どのように対応されますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ① 断らない ② 内容次第で検討する ③ 経験のないことはあまりやらない
 ④ 断る ⑤ その他()

9. 前問で①②を回答された方にお伺いします。なぜ対応しようとするのか、その理由について当てはまるものを順に最大3位まで番号をご記入ください。

1位	2位	3位
----	----	----

- ① 新しい技術開発につながる ② 新規取引先開拓 ③ 対応できる協力会社へ発注 ④ 対応できる協力会社と共同受注
 ⑤ 難しいニーズに応えることに喜びを感じる ⑥ 断ると今後の取引に影響する ⑦ その他()

10. 貴社はモノづくりを通じて社会においてどのような役割を担っていると考えますか。

当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ① よりよい製品、技術で世の中に貢献する
- ② 地元で雇用を生む
- ③ 特に考えはない
- ④ その他()

11. 「IoT(モノのインターネット)」、「AI(人工知能)」など産業構造が変化するなか、

これから取り組みたいことは何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ① IoT・AI機器等の導入
- ② IoT・AI関連分野への進出
- ③ IoT・AI 関連分野に対する理解、勉強
- ④ 対応できる人材の採用、育成
- ⑤ 興味がない・分からない
- ⑥ 従来の生産方式にこだわる
- ⑦ その他()

IV 海外展開について

1. 貴社の海外展開に向けた取り組みについて当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 自社製品等を輸出している
 - ② 自社製品等を輸出していきたい
 - ③ 海外進出(生産委託・合弁含む)している
 - ④ 海外進出(生産委託・合弁含む)していきたい
 - ⑤ 現在、海外展開をしておらず、また、今後もその考えはない
- この項目で「⑤現在、海外展開をしておらず、また、今後もその考えはない」を選択の場合、
「V 東大阪市(都市イメージ)について」へお進み下さい。

2. 設問1で①、②と回答された事業所にお伺いします。

(1) 今後、輸出を拡大又は新たに輸出していきたい国・地域はどこですか。

下欄の当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① アメリカ
- ② カナダ
- ③ EU諸国
- ④ 韓国
- ⑤ 台湾
- ⑥ 中国
- ⑦ タイ
- ⑧ インドネシア
- ⑨ 東南アジア諸国(タイ・インドネシア除く)
- ⑩ オセアニア
- ⑪ インド
- ⑫ その他()

(2) 輸出に関して、どのようなことが課題・問題点となっていますか。

当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 現地情報の収集
- ② 商品の品質管理
- ③ 事業資金の調達
- ④ 代金回収
- ⑤ 取引先の確保
- ⑥ 輸出手続きの煩雑
- ⑦ 貿易実務に長けた社内人材の育成・確保
- ⑧ その他()

(3) 貴社が今後ターゲットとする市場をご記入いただき、

具体的な売り込み先の有無についていずれかに○をご記入ください。

記入例：航空機産業

具体的な売り込み先 [有₁ · 無₂]

3. 設問1で③、④と回答された事業所にお伺いします。

今後、さらに、又は新たに海外進出していきたい国・地域はどこですか。

下欄の当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① アメリカ
- ② カナダ
- ③ EU諸国
- ④ 韓国
- ⑤ 台湾
- ⑥ 中国
- ⑦ タイ
- ⑧ インドネシア
- ⑨ 東南アジア諸国(タイ・インドネシア除く)
- ⑩ オセアニア
- ⑪ インド
- ⑫ その他()

V 東大阪市(都市イメージ)について

1. 東大阪市で操業するメリットを感じていますか。

当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ① メリットが大きい ② メリットは幾らかある ③ ほとんどない ④ 全くない ⑤ わからない

上記で「①メリットが大きい」、「②メリットは幾らかある」とお答えになった場合、どのようなメリットがあると感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 取引先が近い ② 協力会社が多い ③ 大学・試験研究機関が近い ④ 技術力のある企業が存在している
 ⑤ 技術を持った人材を確保しやすい ⑥若い人材を確保しやすい ⑦ パートを確保しやすい
 ⑧ 安心して操業できる環境 ⑨ 支援施策が多い(別紙参照) ⑩ モノづくりのまちとして知名度が高い
 ⑪ 公共交通の便が良い ⑫ 道路網の発達 ⑬ その他()

2. 本市のモノづくりの起源は古く、すでに弥生時代には、銅鐸や銅劍などの青銅器鑄物が盛んに造られていました。このようなモノづくりの歴史的なルーツを意識したことがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ① ある ② 知っているが意識しない ③ ない(知らない) ④ 知らないが興味がある
 ⑤ その他()

3. モノづくりのまちとして魅力をもっと高めるために、これから必要だと思われる取組やお考えをお聞かせください。

4. 最後にあなたにとって、「モノづくり」とは何だとお考えですか。

以上、ご協力いただきありがとうございました。

調査票の記入・回収、調査主旨に関するお問い合わせ先

東大阪市経済部モノづくり支援室

[電 話] 06-4309-3177

[F A X] 06-4309-3846

[メール] monodukuri@city.higashiosaka.lg.jp